

フードコード・ファクトシート #24

コードについて知っておくべきこと

WWW.HEALTHOREGON.ORG/
FOODSAFETY

OAR 333-150-0000、 チャプター5-203.11

(A) 本セクションの (B)、(C)、(D)、(E)を除き、1台以上の手洗いシンク、または § 5-204.11に基づいて規定されるエリアにおける従業員による快適な使用に必要な数の手洗いシンクを設置することとします。

(D) 移動式フードユニット：

(1) クラスII、IIIおよびIVの移動式フードユニットには手洗いシンクが備わっている必要があります。

(2) 2012年9月4日以前に認可された本パラグラフのサブパラグラフ (1) の定めにかかわらず、クラスIIおよびIIIの移動式フードユニットは、2018年1月1日までにパラグラフ (D)(1) の要件を満たすようユニットがアップグレードされている場合、本セクションの ¶ (C) 項に記述されたような手洗いシステムを備えることができます。作業日の開始時点では、手洗いに利用可能な水として、最初に5ガロン以上を用意すべきとします。

公衆衛生上の理由：

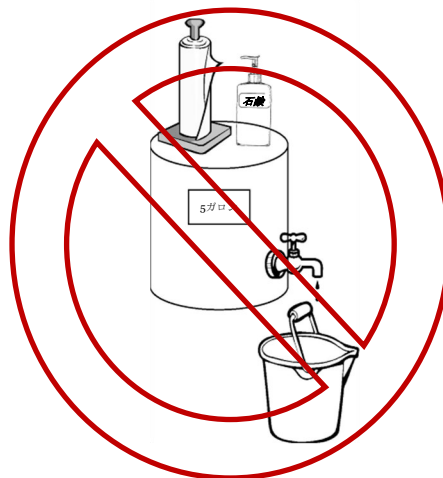
手洗いは、フードサービスにおいて最も重大な公衆衛生慣行の1つです。十分な水压を確保できない施設が利用できない場合、移動式ユニットの食品従事労働者にとって、効率的に、かつ必要に応じて手洗いをを行うのは困難になります。

機械的圧力による移動式手洗いシステム

食品衛生規則 (Food Sanitation Rules) では、2018年1月1日までの期限として、すべての移動式ユニットに手洗いシステムを備えることが不可欠であり、加圧下とすることを義務付けています。運営者は、常時、認可レストラン同様に、一貫した圧力と温度 (100F以上) を提供すべきです。

この要件下では、以下の種類のシステムは許可されなくなります。

- 5ガロンのキャッチバケットを備えた一時的な設置
- 重力のみを使用するよう考案されているシステム
- ブラダー (Bladder) スタイルの淡水容器
- キャンピング会社が市販しているような、非営利の手洗いユニット
- フットポンプ装置



許可される手洗いシステムの例：

- 一体型の5ガロンの淡水タンク、および15%大きい大型の廃水保持タンク
- 加圧ポンプ
- 一貫して100F以上の給水を行う温水器

いくつかの米国衛生基金 (National Sanitation Foundation : NSF) 認可の手洗いシンク、およびビルトコード対応の給湯器付きの業務用RV手洗い器もいくつかあります。

なお、ユニットオペレーターは、法律により20ガロンまでの中水を持ち運ぶことができます。タンクがこれよりも大きい場合、商業用ごみ集積場に投棄するか、または商業用汲み取りサービスとの契約が必要になります。タンクはすべて本体ユニットと一体型でなければなりません。

新しい淡水タンクを追加するタンクは、廃水の用量も増量する必要があります。

新規に装置やタンクを購入する前に地域の公衆衛生当局に連絡し、食品衛生規則の要件に適合するようにしてください。

適用規則、OAR 333-150-0000

5-202.12 手洗い施設、設置。

(A) 手洗いシンクを設置し、混合弁または混合水栓を介して38C (100F) 以上の温度の水を利用できるようにします。Pf

(B) 蒸気の混合弁は、手洗いシンクには使用できません。

(C) 自動開閉式、緩閉式、または定量式の水栓は、水栓を再び開ける必要なく少なくとも15秒間水流を供給するものでなければなりません。

5-205.11 手洗い施設の使用。

(A) 手洗い施設は、常時、従業員が使用できるよう維持されるものとします。Pf

(B) 手洗い施設は、手洗い以外の目的には使用できません。Pf

5-305.11 水システム要件。

(A) クラスIVの移動式フードユニットには、加圧式の飲料水システムが必要です。システムは、調理、器具類の洗浄や手洗い、そして本規則の要件に十分な熱さや冷たさの水を供給するだけの性能があるものとします。こうした供給は、手洗い用に最低5ガロン、そして器具類の洗浄に30ガロン、または3つのコンパートメントのシンクの2倍のいずれか多い量から構成されるものとします。P

(B) クラスIIおよびIIIの移動式フードユニットには、調理、器具類の洗浄や手洗い、または本規則規定のその他の要件に十分な水を提供する水供給が備わっている必要があります。手洗いがユニットで行われる場合、最低30ガロン、または3つのコンパートメントのシンクの2倍のいずれか多い量の水がこの目的にのみ使用されます。最低5ガロンの水が手洗い用に確保される必要があります。P

(C) サブパラグラフ5-203.11(D)(2)に規定されている手洗いに関連する場合を除き、移動式フードユニットはすべて、ユニットに一体型の飲料水タンクと廃水タンクを搭載して設計する必要があります。移動式ユニットは、稼働場所に上下水道がある場合は接続することができますが、タンクは常にユニットに搭載したままである必要があります。Pf

5-401.11 容量と排水。

移動式飲食施設の下水貯蔵タンク：

(A) 給水タンクより15%容量が大きいサイズ。および

(B) 内径が25 mm (1インチ) 以上で、遮断弁を備えた排水溝への勾配があること。

5-103.12 圧力。

高圧水は、水の使用が義務付けられているすべての備品、装置、非食品装置に提供されるものとします。Pf